

大規模アウトレット建設へ 23年後半に完工目指す 三菱地所

2022/03/23 じゃかるた新聞 671文字

三菱地所（本社・東京都千代田区）は22日、シンガポールの総合不動産会社トゥアンシン・ホールディングスリミテッドと共同で、西ジャワ州カラワン県で大規模アウトレットモール「ザ・グランド・アウトレット・イースト・ジャカルタ」を建設すると発表した。約180店舗が出店する計画で、2022年半ばに着工、23年後半に完工を予定している。

アウトレットモールの店舗面積は約2万6千平方メートル。地上1階建て（一部2階建て）で、自動車とバイク合わせて1200台の駐車が可能になるという。総事業費は約70億円で、出資比率は三菱地所50%、トゥアンシン50%となる。

建設予定地は、最寄りの子カンベック高速道路出口から約10分（3・5キロ）に位置する。建設が進むジャカルタとバンドンを結ぶ高速鉄道の駅からも近いという。

アウトレットモールの設計は三菱地所設計が担当する。国際ブランドを誘致するほか、飲食店、キッズパーク、イベントスペースを設ける計画という。

三菱地所はこれまでジャカルタ中心部で、オフィスを主体とし商業施設などを備えた「トリニティ・タワー」を建設、また、オフィス、分譲住宅、商業施設などを備えた「オアシス・セントラル・ステイルマン」の建設を予定している。

事業を共同で行うトゥアンシンはインドネシア国内で医療施設、学校、ホテル、住宅などを含むリゾート型の都市開発を進めている。また、中国における住宅を中心とした複合開発やオーストラリアでホテルの所有・運営を行うなど、幅広い不動産事業を手がけている。（長田陸）

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.